

市町村との意見交換の概要

実施市町村：34市町村

実施日時：令和5年4月14日（金）～7月10日（月）

参加者：＜市町村＞ 市町村長、副市町村長、産業振興担当課長 等

＜ 県 ＞ 産業振興推進部長、副部長、各地域産業振興監、計画推進課長 等

1 総合戦略にかかる現状・課題等

（1）人口減少対策全般

- 単独の市町村による取り組みだけでなく、広域で人口を維持するという視点での支援や取り組みを検討してもらいたい。
- 農地等に住宅の建築ができないため人口が減少している。調整区域から外さないと人口の空洞化がますます加速する。
- 産業や住民政策、教育など、それぞれの分野で目標を立てているが、人口減少は全てに関連しており、全体を包括し、横断的な見方で施策を強化した方が良いと考えている。
- 人口減少が進んでおり、中山間地域では買い物が困難な住民も多い。地域の生活を守り、維持していかなくてはならない。

（2）基本目標1・2関係（魅力のある仕事をつくる・新しい人の流れをつくる）

- 結婚のためには安定した仕事が必要であり、工場等の誘致ができれば雇用の場を確保できる。
- 労働者が定着するためには、賃金を増やす必要がある。
- 賃金を上げて人手不足を解消しようとしても、県内の中小企業等では賃上げを継続的に実施することができない。
- 県外に出てもUターンしようという気持ちを持ってもらうために、子どもたちに様々な場面で高知県の良さを伝えていくことが重要。

（3）基本目標3関係（「結婚」「妊娠・出産」「子育て」の希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する）

- 子育て世帯への対策よりも、若者の出会いの場をつくることが必要。
- 林業をはじめとした一次産業は力仕事のイメージがあるが、重機やデジタル機器を活用することで女性でも従事できる。

（4）基本目標4関係（高齢者の暮らしを守り、若者が住み続けられる中山間地域をつくる）

- 中山間地域では、役場や農協ぐらいいしか雇用の場がない。
- 以前ほど地域での集まりもできなくなっており、地域の活力が低下していると感じる。集落の維持が難しくなっている。例えば農業が衰退していくと、景観が壊れ、鳥獣の被害も想定される。
- タクシー事業者の廃業などにより、移動手段的確保が難しくなっている。
- 暮らしを守るには、買い物ができる場所も必要。山村留学の子どもたちが買い物したい時間帯に店が閉まっている。土曜日も開いていない。
- 中山間地域の労働力不足について「特定地域づくり事業協同組合」設立に向けて取り組んでいるところだが、事務局となる事業者選びが課題。
- ガソリンスタンドの事業承継について、U・Iターンを支援するための情報サイト「高知家で暮らす。」の仕事を探すページに掲載しようとしているが、人件費が課題。継続は望んでいるが町単独の支援は難しく、自立も難しい。

2 デジタル化の推進にかかる現状・課題等

（1）行政におけるデジタル化の推進

- デジタル化は、システム改修などランニングコストが負担となっている。県でスケールメリットを

出せるような取り組みをすれば、県下全市町村もデジタル化に取り組みやすいと考える。システムの統一など県でリードしていただきたい。

- デジタル分野に精通する人材の確保が難しい。人材プラットフォームのような役割を県が担ってほしい。
- デジタル化が遅れている市町村への支援だけでなく、先行して頑張っているところにも支援をお願いしたい。

(2) デジタルデバイド対策

- 65歳以上の住民へスマホの無料配布も検討したが、ランニングコストが個人負担となるために断念した。

(3) デジタルインフラ整備

- 携帯電話の不感地域や一部のキャリアだけしか使えない地域もあり、また、光ファイバーの整備が遅れたことにより新しい産業の誘致がうまくいっていない。深刻な中山間地域のデジタルデバイド是正のため、インフラ整備に係る財政支援等を早急をお願いしたい。
- 5Gが、どこで暮らしても使えるという基盤があれば強みになる。
- 医療などリアルタイムで医師が診断できるとなれば、離島でもどこでも暮らせる。そういったデジタル先進県を目指してほしい。
- 農業のデジタル化について、山間地は電波が弱いので、GPSが機能しない。また、一箇所当たりの耕地面積も狭いので、デジタル技術を用いた効率化も見込めない。
- デジタル基盤ができたとしても維持管理に非常に費用がかかることが課題。

(4) マイナンバーカード普及・活用

- マイナンバーカードを様々な施策に活用しようとしても、J-LIS（地方公共団体情報システム機構）の使用料が高くて活用できない。

3 デジ田戦略の次期戦略への勘案に当たった課題や要望

(1) デジ田戦略を勘案した改定作業

- 県版総合戦略を参考に改定したいと考えているため、スケジュールや内容を適宜情報共有してほしい。
- デジ田総合戦略を勘案した計画の改定は、次期計画（令和7年度～）の策定時に盛り込むことを想定しているが、他町村の状況等も勘案し引き続き検討していきたい。
- 総合戦略の事業は全て総合計画と重複している。そのうえで、策定期間に1年の差が生じているため、統合も視野に検討する必要がある。

(2) デジタル分野に関する目標設定等

- デジタル技術の活用に関する方針や施策、KPI等をどのように落とし込んでいくか苦慮している。
- 施策・数値目標・KPI等の設定をするにあたって、どのような項目を入れていくか参考となるような情報を提供してほしい。また、デジタルに関して、先進地が実際に設定している施策・数値目標・KPI等を情報提供してほしい。
- デジタル化で何ができるかを現場に知ってもらうため、デジタル技術の活用事例の情報共有を行ってほしい。
- デジ田交付金の事例を知りたい。どのようなものに使えるのか、何が対象かわからない。補助率10/10などのメニューは申請のハードルが高いので、もっと国から情報がほしい。